

# 製造、配送 効率アップ

デジタルピッキングシステムとは、工場の組立ラインや物流センターの配送現場で、多数の棚から決められた数の部品を取り出した後、商品を複数の送付先に仕分ける際、作業をスムーズに行うために使う機器やプログラムのこと。製造業や運送業、食品加工業の現場で多用される。従業員が伝票を見て作業を行う場合、間違いが多く、効率も悪い。

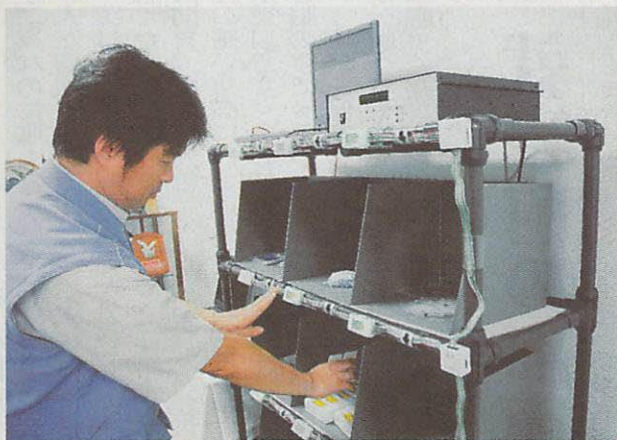
## その名も… シワケンジャー 仕分けの賢者

従来のシステムは、企業によっては必要な機能があつたほか、同社の社員が出向いての大規模な設置工

99。

### タカハタ電子(米沢)がシステム開発

タカハタ電子(米沢市、安房毅代表取締役)は、製造工場では部品を棚から取り出したり、配送センターで商品を送付先ごとに仕分けする際に使うデジタルピッキングシステム「仕分けの賢者(シワケンジャー)GP」を発売した。紙の伝票を確認して作業する場合に比べ、作業時間は半分になり、作業ミスは1万分の1~10万分の1(同社調べ)になるという。



タカハタ電子が開発したデジタルピッキングシステム「仕分けの賢者(シワケンジャー)GP」

米沢市・タカハタ電子

事も必要だった。表示器100台セットで200万円~300万円の費用もネックとなっていた。

同社は必要最小限の機能だけに絞り、設置も購入者が行うことでコストを大幅にカット。価格を89万8千円まで抑えた。月1万7千円(5年契約)の支払いプランもあり、中小企業も購入しやすい。表示器も見やすく、コンパクトになったため、どのような現場にも対応できる。

無線式の「モデルTK-725」も発売。開発には山形大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻の志村勉教授の助言を受けた。新商品は9月14日、17日に東京都の東京ビッグサイトで開催される国際物流展2010にも出展。県内企業限定で約1カ月のモニターも募集する。問い合わせは同社特機システム事業部02388(36)0099。